

平成28年度の事業報告書
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

法人名 特定非営利活動法人モースト

1 事業の成果

■「ジュノー記念祭」後アニメ「ジュノー」上映会 広島県立美術館（2016年6月5日）
アニメ「ジュノー」は、原爆投下後の広島へ15トンの医薬品を届け、自らも救援活動にあたった「広島の恩人」赤十字国際委員会マルセル・ジュノー博士の無償の愛と勇気を伝えるアニメです。毎年、一般社団法人広島県医師会主催の「ジュノー記念祭」当日、アニメ「ジュノー」の上映を行っています。今年度は広島県医師会との共催で行われ、市民ら約80人が鑑賞されました。

■ 東原中アニメ「ジュノー」上映会と講演 当理事長（2016年7月5日）
毎年7月、アニメ「ジュノー」の上映会と当理事長の講演が行われています。

■「愛のジュノー便」DVD寄贈（2016年度）
毎年5団体へアニメ「ジュノー」DVDの寄贈を行っています。今年度は広島県環境県民局学事課を通じて近畿大学附属広島中学校、広島修道大学付属鈴峯女子中学校、広島城北中学校、安田女子中学校の4校と、呉市立和庄中学校に寄贈が決定しました。

■イラン毒ガス被害者・「第3回広島イラン愛と平和の映画祭」関係者来広（2016年8月3日～9日）

イランの毒ガス被害者来広は本年で13回目です。同時に第3回目の映画祭を開催しました。

●平和首長会議事務所を訪れ、イランの893加盟都市（2016年8月4日現在）がイラン国内で有益に活動するための方策を検討しました。

●毒ガス被害者らは、東京からのボランティア大学生のアテンドで平和記念資料館を見学しました。

●大久野島（竹原市）を訪問。毒ガス患者の診療に生涯をささげた故行武正刀医師の長女則子さんや三女のご主人吉國晋医師も同行。毒ガス資料館でイランの毒ガス被害者らに、大久野島の被害について説明いただきました。

●8月6日、イランからの訪問者全員が平和記念式典へ参列。原爆投下の午前8時15分に黙祷を捧げ、犠牲者の冥福を祈りました。

●13回目となる、市長表敬訪問が行われ、松井一實市長が、イラン映画祭の内容や、監督や俳優らが同席していることに触れられるとともに、イランの平和首長会議加盟都市数が世界第2位になったと述べられました。

●「第3回広島イラン愛と平和の映画祭」がシネツイン本通り（広島市中区）で、監督・俳優らの舞台挨拶で開幕、8月6日～12日の期間で開催しました。

●学生の企画による歓迎会を兼ねた日本イラン交流会が、広島市南区民文化センターで開かれました。被爆者とイランの毒ガス被害者が証言を行いました。日本側初参加のボランティア学生は、交流会運営が貴重な学習の場になったとのことでした。また、市民の参加もあり、イランを知ってもらうよい機会となりました。

●イランのミーリー監督の「映画製作のワークショップ」が行われました。（広島市中区会議室）。広島女学院大学のDr.ポール・スパイサーと同大学生5名はじめ、東洋英和女学院大学（東京）2名も参加しました。

■国際ソロプチミスト広島-もみじ 講演「ボランティア 20 年の軌跡」 当理事長（2016 年 9 月 20 日）

当理事長の著書「イラン毒ガス被害者とともに」を読まれた「国際ソロプチミスト広島-もみじ」の会員様の依頼で、20 年間のボランティア活動について講演しました。（ホテルグランヴィア広島）

■広島市老人大学で講義「イラン毒ガス被害者の医療支援を通し学んだこと」（2016 年 11 月 10 日）

広島市老人大学（同市社会福祉協議会）の依頼を受け、当理事長がイランの毒ガス被害者との医療支援を中心に講義を行いました。

■ジュノー音楽祭 2016 広島県民文化センターホールで開催（2016 年 11 月 12 日）

第 16 回目となるジュノー音楽祭が 11 月 12 日（土）、広島県民文化センターホール（広島市中区）で開かれ約 400 名が鑑賞しました。

●第一部はアイリッシュ・トラディショナル・バンド” SEiREN” が、アイルランドの伝統音楽を披露。第二部は恒例の NHK 広島児童合唱団による歌唱でした。

●このチャリティーコンサートの収益で、「愛のジュノー便」プロジェクトの一環で 2017 年度、アニメ「ジュノー」DVD を、教育施設などへ寄贈の予定です。

■イラン訪問 理事長著書ペルシャ語版発刊、大学や毒ガス被害者の病院との交流、映画祭の準備（2017 年 2 月 12 日～2 月 19 日）

2017 年度のイランとの共同プロジェクトについてテヘラン・ピース・ミュージアム (TPM) で話し合いました。

●当理事長著書「イラン毒ガス被害者とともに」のペルシャ語版発刊記念の式典が行われ（イラン芸術家フォーラム・テヘラン市）、在日大使時代に面識のあるアラグチ外務次官が来賓として出席されました。本は 13 年間の交流で来広経験のある毒ガス被害者ら全員へ寄贈されるということです。

●イランの毒ガス被害者との交流が 14 年目を迎えます。イランの被害者を広島へ初招聘時の訪問者ハミッド・サーレヒさんが教授を務めるアーラメ・タバタバイ大学に招かれ、政治学や国際法が専門の教授らと会見しました。同大へ平和学科を創設するサポートの依頼を受け、2017 年 6 月に同大教授が広島を訪問し大学などを視察します。

●また私立幼稚園を訪問し、絵を使ってけんかを仲裁するゲーム形式の平和教育メソッドを体験しました。

●2017 年 8 月に開かれる「第 4 回広島イラン愛と平和の映画祭」の作品選定のため、アート・センターを訪れ候補作品を視聴しました。同センターのモメニ会長らへ、理事長著書のペルシャ語版が寄贈されました。

●2016 年 8 月来広したタワコリ医師が院長を務める毒ガス被害者の治療を行うササン病院を訪れ、入院中の毒ガス被害者らと会見しました。被害者の治療をさらに進めるため、広島に看護師らを招き呼吸リハビリテーション習得プログラムを計画しています。

●来広経験のある毒ガス被害者で角膜術後のサリミさん宅（キャラジ市）へお見舞いに伺いました。

●広島の映画祭担当のアートセンター・ハビブさんやアニメの監督らと再度会見し、3 月にテヘランで開催されるアニメ映画祭にアニメ「ジュノー」英語字幕版が上映されることになりました。

●総括会議を TPM のソルシュ理事長らと行いました。議題は、8・6 毒ガス被害者と映画祭関係者の広島訪問をはじめ、新規プロジェクトのササン病院との医療交流とアーラメ・タバタバイ大学の平和学学科構築への協力などです。

■日韓若手音楽家交流を支援（2017 年 2 月 22 日）

日韓の若手音楽家の交流を図る演奏会「バロック・トリオ」が2017年3月31日、JMS アステールプラザ中ホールで開かれました。(主催:「日韓若手音楽家交流委員会」) 当会は若手音楽家の育成を応援しています。